

ヤマヤ 株式会社

〈事業計画名〉進化したオーガニックコットン靴下の開発によるオーガニック製品市場の拡大



環境に配慮したオーガニックコットンの市場拡大による持続可能な社会の実現

事業の背景▶▶▶

オーガニックコットンによる環境への配慮

天然資源の枯渇や自然環境の悪化など、環境問題が大きな社会問題としてますます深刻化している中、靴下の原料となるコットンの生産には、農薬や枯葉剤が大量に使用されており、環境への配慮が懸念材料となっていた。

一方、有機農法で栽培されたオーガニックコットンは、農薬等を使用する事がなく環境問題に寄与する素材であったが、その特徴を活かすためには、化学染料が使えない等の制約も多く、そのため、デザインの幅も限られたものになっていた。

また、天然素材を求めるユーザーは要望が高く、そのニーズに答えるためには、天然素材を使用した染色や肌に刺激の少ないフラットな縫製等、乗り越えなければならない課題が山積していた。

■オーガニックコットン

農薬や化学肥料の使用を控え栽培された環境や身体にもやさしい綿。



事業の成果▶▶▶

自然素材を切り口とした、販路の拡大

オーガニックコットンを用いた製品をより魅力ある製品に仕上げるため、新しい天然染色法による糸を開発し、最適機能を備えた編機を導入することにより、天然素材で刺激の少ない進化したオーガニックコットン靴下の開発が可能となった。

オーガニックという自然素材を切り口とした新たな製品の拡充により、ナチュラル素材を扱うセレクトショップや通販等への販路拡大の足掛かりとなった。

また、オーガニックコットンの市場を拡大することにより、持続社会の実現に寄与することができた。



ヤマヤ株式会社の概要▶▶▶

繊維産業の産地の誇りを胸に、人にも環境にもやさしいものづくり

奈良県の北西部に位置する広陵町。古くから綿作や木綿織りが盛んに行なわれていた繊維にゆかりのある地にて、木綿織り、そして、靴下製造へと繊維の道を歩んできた当社。

産地の誇りを胸に、ソックスメーカーとしてイノベーションをキーワードに、多様化したユーザーニーズに応えるとともに、事業を通して社会に貢献できる企業であるため、人にも環境にもやさしいものづくりを日々行っている。

また、「価値の創造」を基点に、ファクトリー機能を生かしたオリジナル商品の開発や自社ブランド商品の展開もしている。



ヤマヤ株式会社のこだわり▶▶▶

「ささいなことにも安易に妥協しない。いいものを作るという熱い思い」

いいものは、素材づくりにはじまり製品化に至るまで、それぞれに関わる人の熱い思いの積み重ねから生まれるものと考えている。

「ささいなことにも安易に妥協しない。いいものを作るという熱い思い」が、そのまま、ヤマヤのものづくりのこだわりである。

そのこだわりをより濃く具現化するため、自社ブランド「Hoffmann (ホフマン)」「オーガニックガーデン」「yahae (ヤハエ)」を展開。顧客とダイレクトに繋がることで、その声を製品にフィードバックしている。

また、自社ブランドによる事業の拡大が、ビジネスパートナーである地域のサプライチェーンの活性化にも寄与したということで、経済産業省より「地域未来牽引企業」の選定を受けている。



地域未来牽引企業

ヤマヤ株式会社の製品▶▶▶

自社ブランド「Hoffmann (ホフマン)」「オーガニックガーデン」「yahae (ヤハエ)」

Hoffmann (ホフマン)
空想上の人物「Hoffmann」をイメージにデザインされた、デザイン性や品質にこだわったブランド



オーガニックガーデン
農薬や化学薬品の使用を控え、環境や身体にもやさしいオーガニックコットンを使用した商品を提案するブランド



yahae (ヤハエ)
オーガニックコットンを主としたサステナビリティを意識した素材を軸にしたヤマヤを象徴するブランド



ヤマヤ 株式会社

業 種 分 類 繊維工業
事 業 内 容 靴下製造

代 表 者 名 代表取締役社長 野村 佳照
所 在 地 奈良県北葛城郡広陵町疋相97-1
連 絡 先 TEL:0745-55-1326 / FAX:0745-55-5133
ホームページ <https://www.yamaya-e.com/>
E-MAIL info@yamaya-e.com